



平成31年4月8日

各 位

上場会社名 シグマ光機株式会社
 代表者 代表取締役社長 近藤 洋介
 (コード番号 7713)
 問合せ先責任者 執行役員管理本部長 菊池 健夫
 (TEL 03-5638-8221)

平成31年5月期通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年7月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成31年5月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年6月1日～平成31年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,360	1,620	1,695	1,105	156.02
今回修正予想(B)	9,090	1,160	1,285	835	117.89
増減額(B-A)	△270	△460	△410	△270	
増減率(%)	△2.9	△28.4	△24.2	△24.4	
(ご参考)前期実績 (平成30年5月期)	8,956	1,433	1,518	1,005	138.49

平成31年5月期通期個別業績予想数値の修正(平成30年6月1日～平成31年5月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,300	1,305	875	123.54
今回修正予想(B)	8,050	1,080	710	100.24
増減額(B-A)	△250	△225	△165	
増減率(%)	△3.0	△17.2	△18.9	
(ご参考)前期実績 (平成30年5月期)	7,998	1,230	854	117.61

修正の理由

平成31年5月期通期(連結・個別)につきましては、売上高は、主に国内・アジア地域のFPD・電子部品・半導体業界向けの光学ユニット製品や米国地域のバイオ・医療業界向けの組込み用光学基本機器製品及び光学素子・薄膜製品が、世界経済の先行きの不確実性を反映した一部の顧客の生産・在庫調整といった反動減の影響を受けたことや、防衛業界・医療業界の大口案件が翌期にずれ込んだこと等から、期初予想を下回る見通しとなりました。又、売上高の減少に加えて、近年の生産の急激な増加に対応するための外部調達増加や海外グループ子会社の事業拡大のための増員などの先行投資等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに期初予想を下回る見通しとなりました。

※ 上記の業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。又、今後様々な要因により実際の業績等は大きく異なる可能性があります。

以上